

98 コノハズク

(フクロウ目)

兵庫県ランク:A

Otus sunia

繁殖個体群:A 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道、本州、四国、九州では夏鳥、沖縄では旅鳥。兵庫県では主に5-11月に記録がある。よく茂った広葉樹の原生林に生息し、樹洞に営巣する。主に林内で昆虫類を捕食する。渡りの時期には平地の農耕地やヨシ原などにも飛来することがある。



写真提供:丹羽英之

国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、男女群島、種子島、伊豆諸島、トカラ列島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(西宮市)、(豊岡市)、(加古川市)、(高砂市)、養父市、(南あわじ市)、(宍粟市)、(播磨町)、香美町、新温泉町 ※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

BランクからAランクに変更。
但馬地域の標高800m以上の森林では繁殖期に鳴き声がよく聞かれており、1989年には抱卵中の巣が確認されていた。近年の森林開発により繁殖地の多くが失われ急減している。個体数は極めて少ない。春秋の渡りの時期には、都市近郊も通過するが、事故例も少なくない。

保護上の留意点

県北部の亜高山地域に限定して分布しており、生息地である氷ノ山後山那岐山国定公園、但馬山岳県立自然公園の保全が本種の保護に直結する。



写真提供:丹羽英之